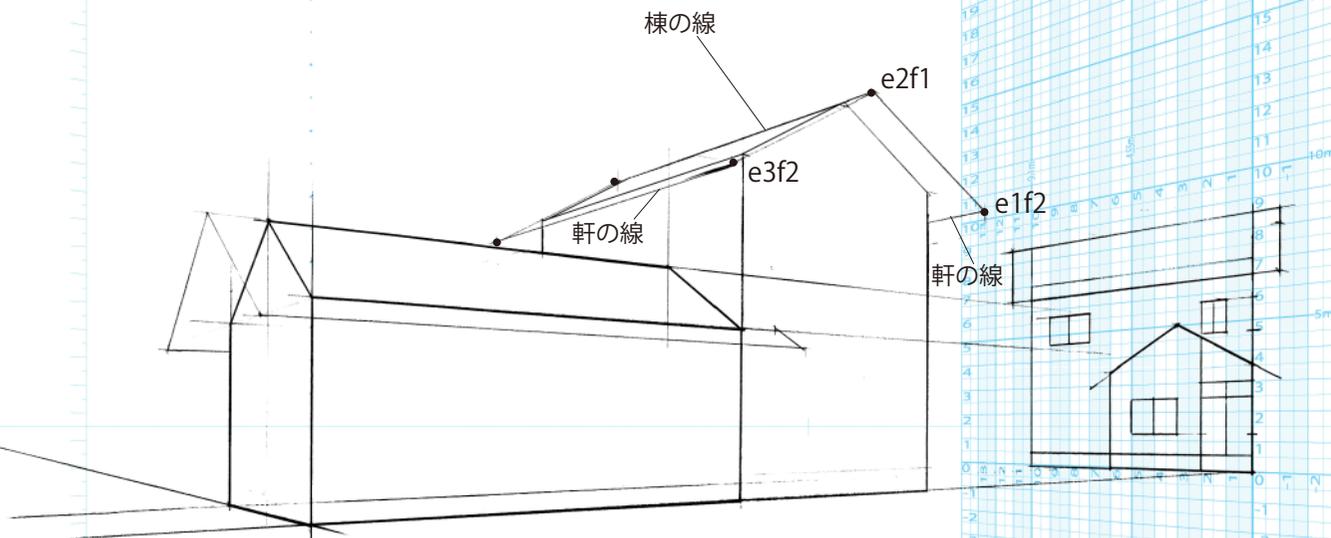
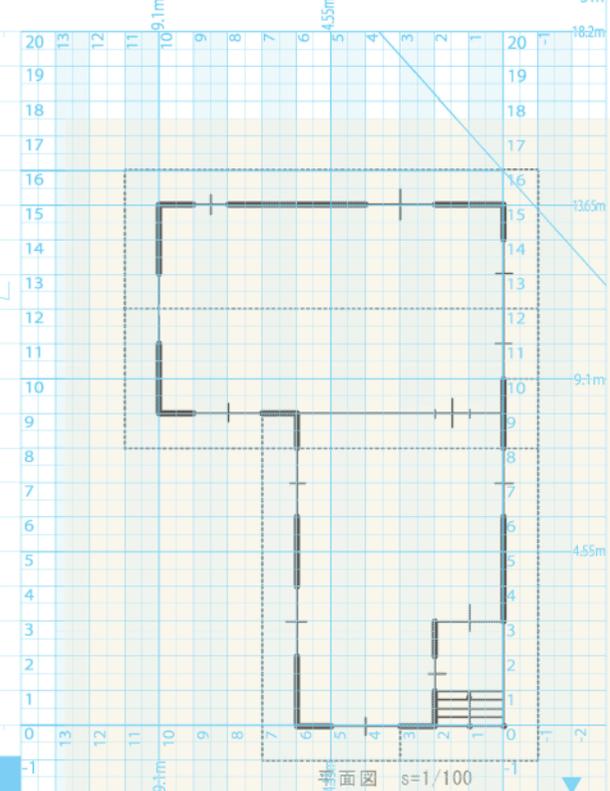
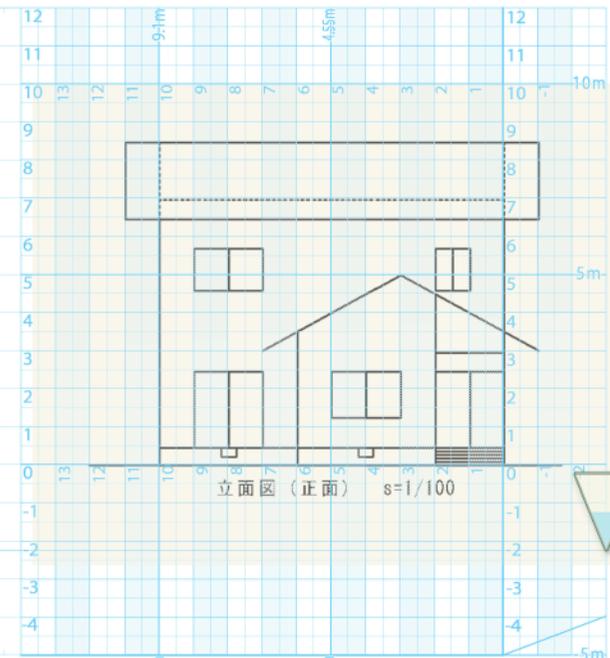


23 2階軒の作図



① e2f1 から近消点パース線を引き、棟の線を描きます。また e3f2、e1f2 から近消点パース線を引き、軒の線を描きます。これで2階屋根の概形が完成します。



0.91
1m
0.91
0.91

24 窓 (妻面) の作図

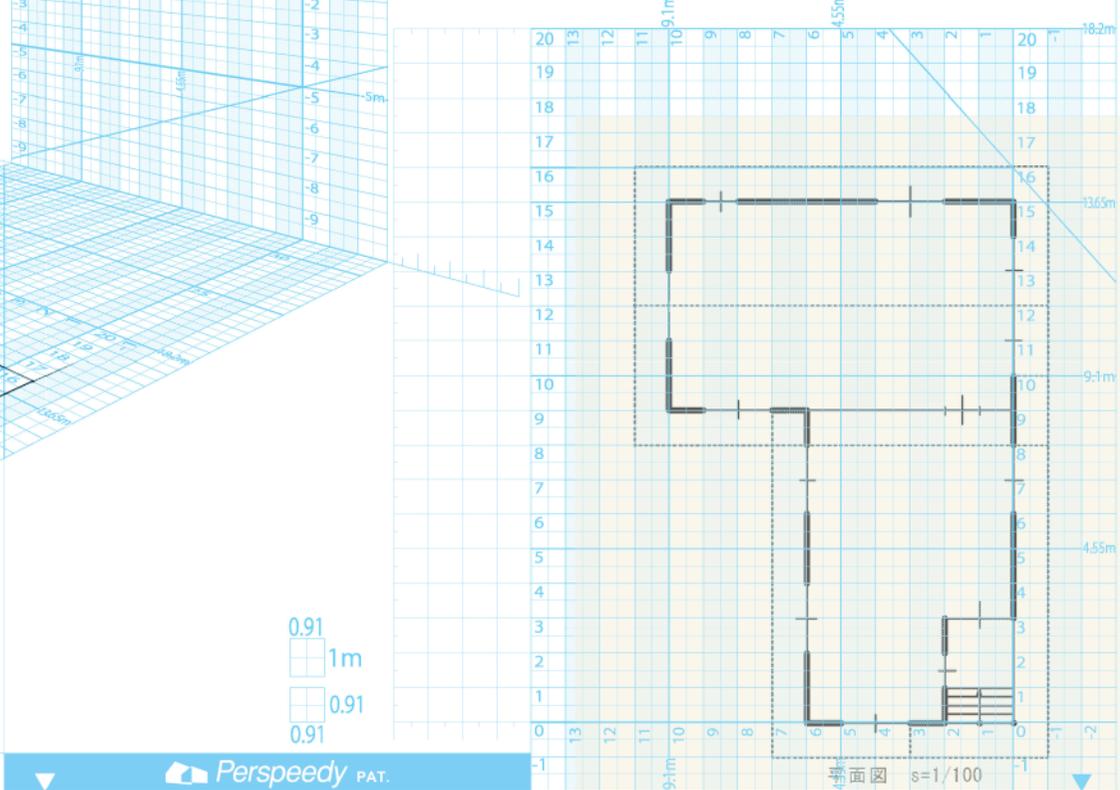
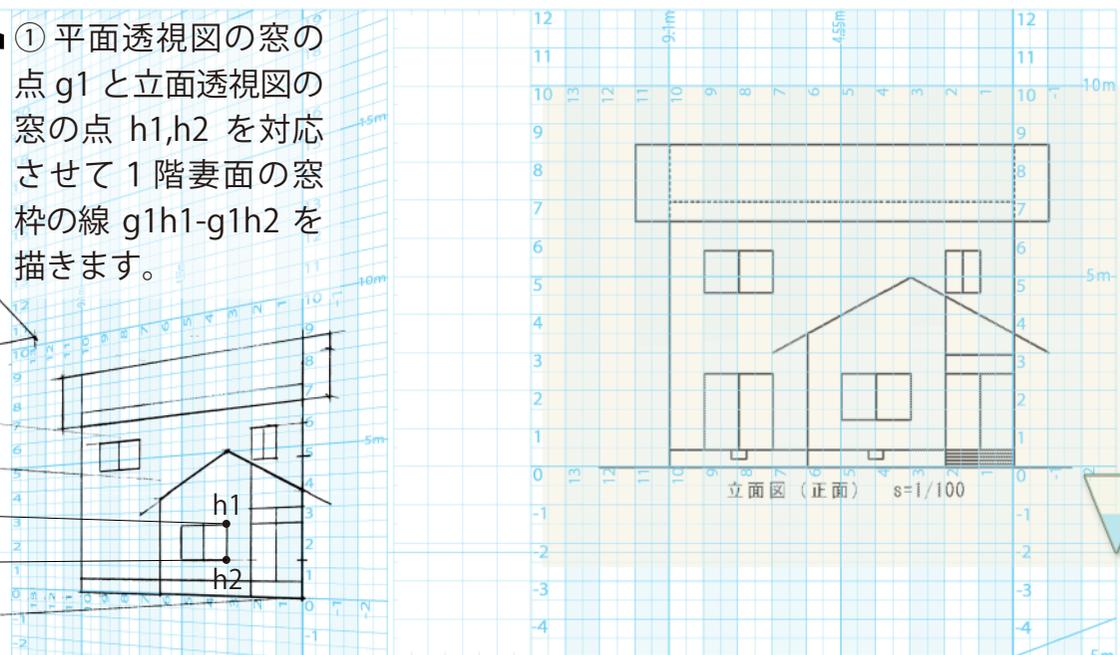
① 平面透視図の窓の点 g_1 と立面透視図の窓の点 h_1, h_2 を対応させて1階妻面の窓枠の線 $g_1h_1-g_1h_2$ を描きます。

② g_1h_1, g_1h_2 から近消点パース線をを引き、窓まぐさの線、窓台の線を描きます。

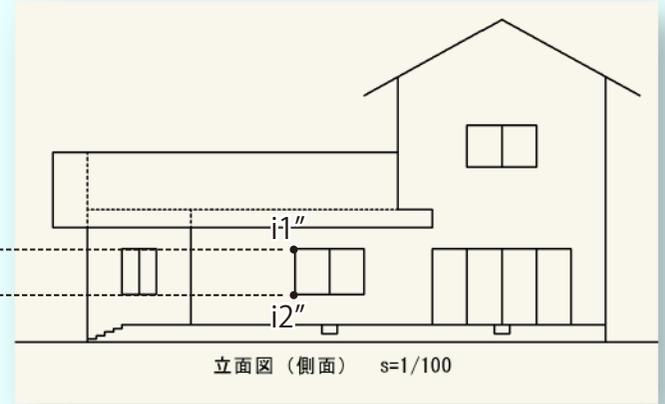
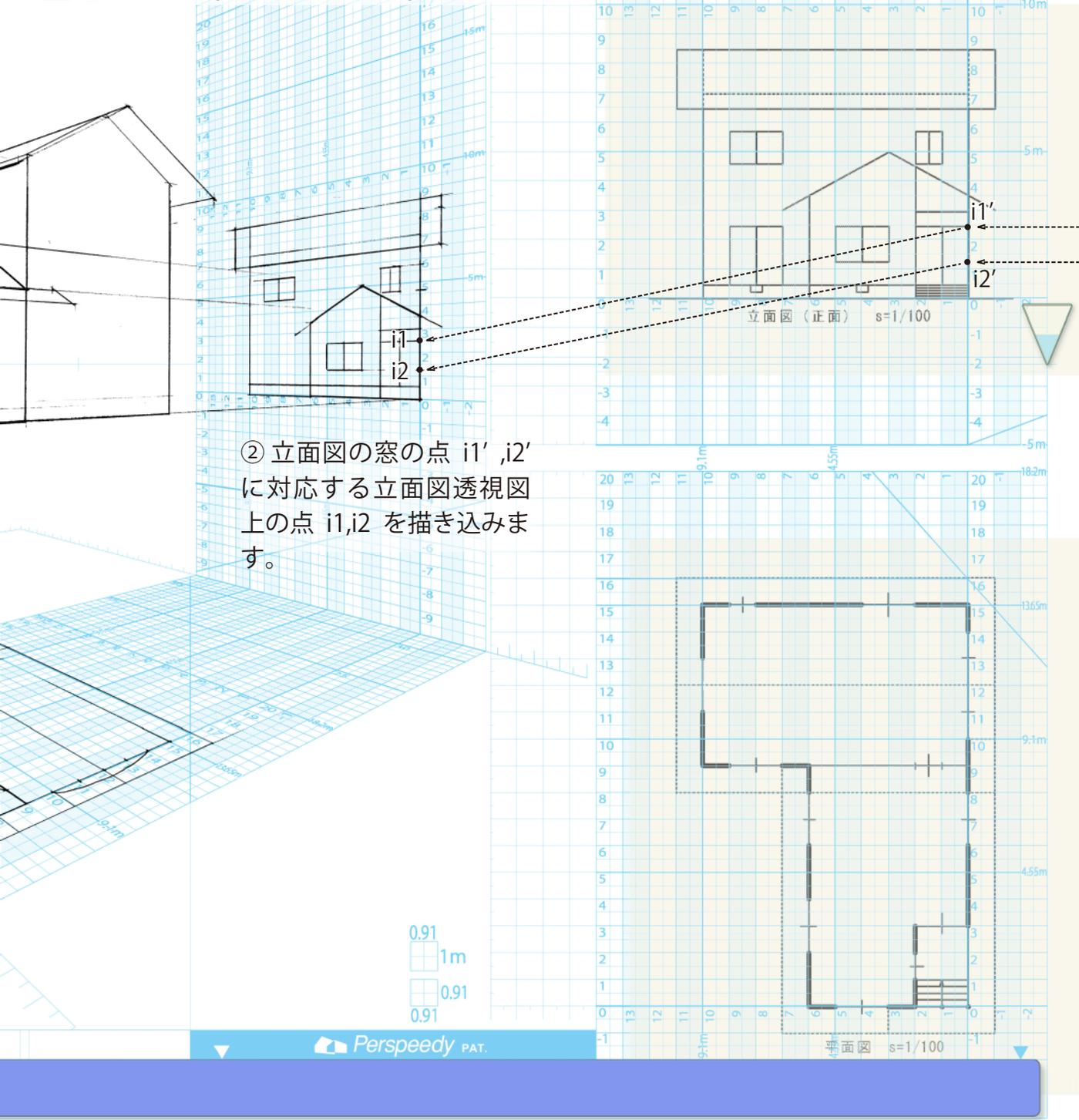
③ 平面透視図の窓の点 g_2, g_3 から垂直線を引き、窓が完成します。

窓まぐさの線 g_1h_1
窓台の線 g_1h_2
窓枠の線 $g_1h_1-g_1h_2$

g_3
 g_2
 g_1

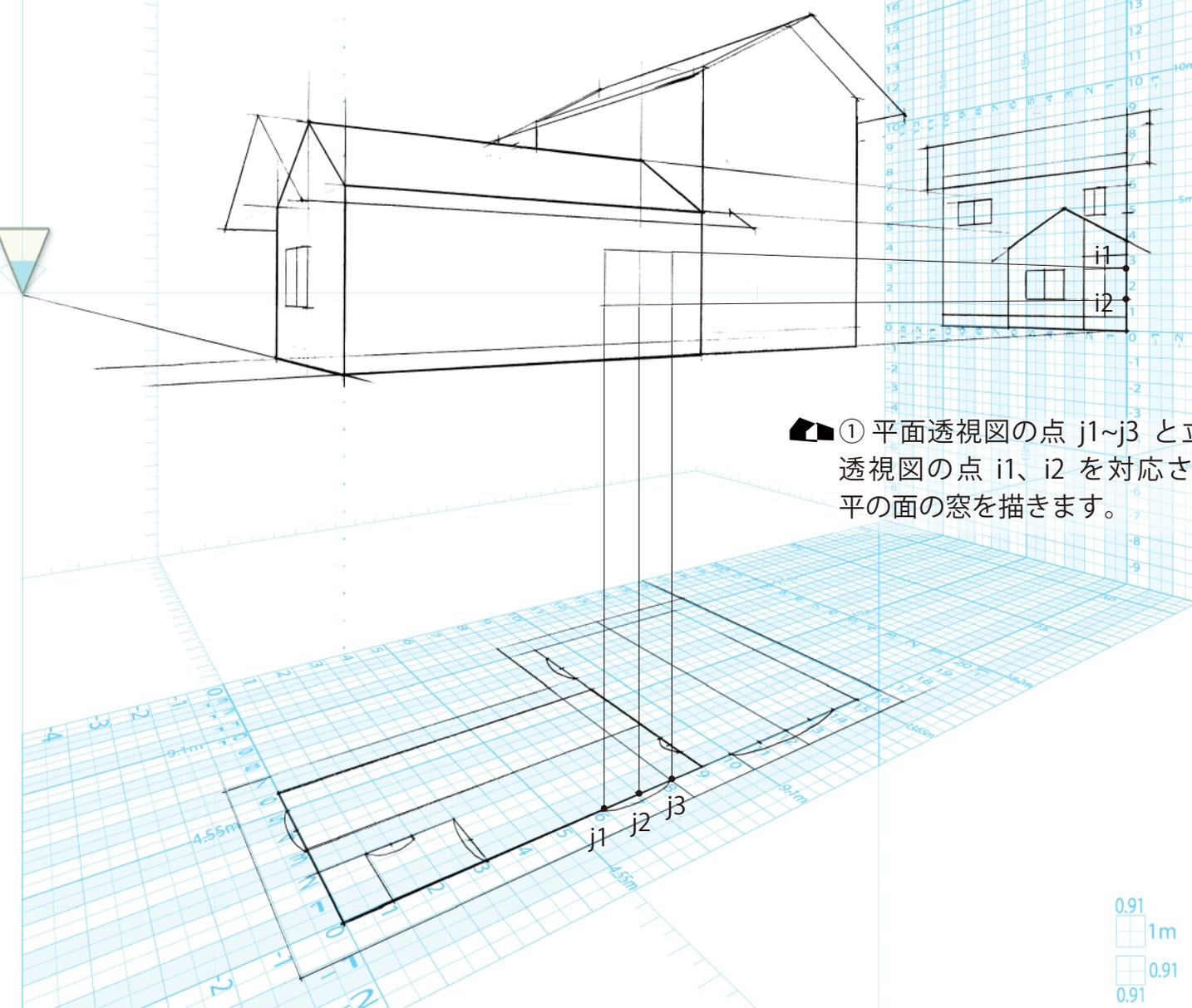


25 窓 (平の面) の作図

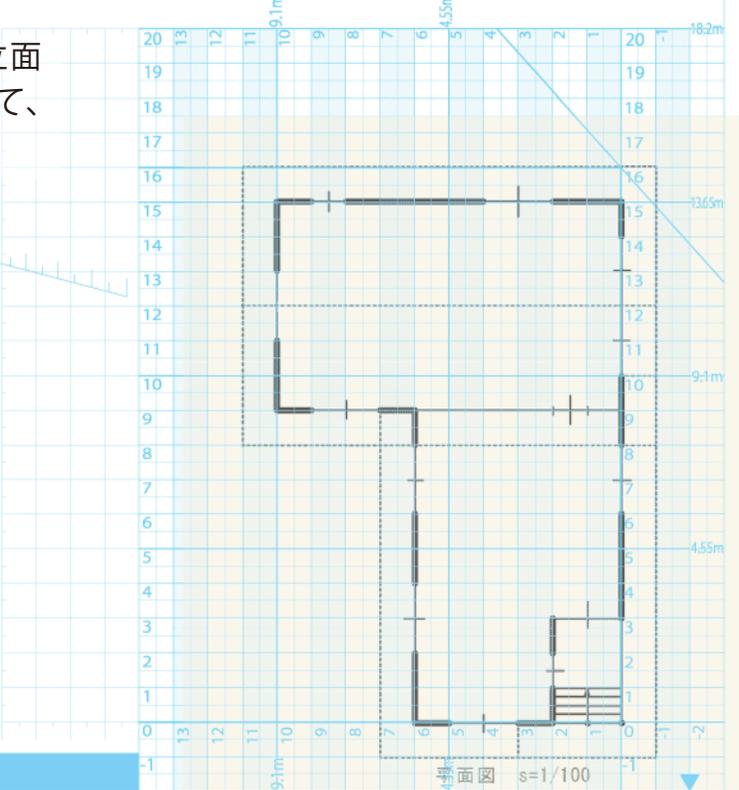
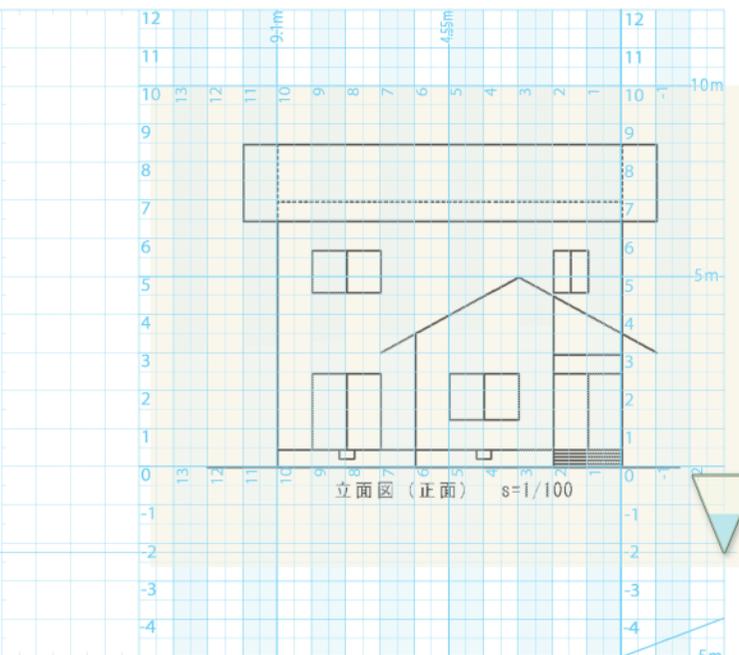


- ① 平の面にある窓を描く場合は、立面図 (側面) が必要になります。
立面図 (側面) の窓の点 $i1''$, $i2''$ に対応する点を立面図 (正面) に $i1'$, $i2'$ としてを描き込みます。

26 窓 (平の面) の作図

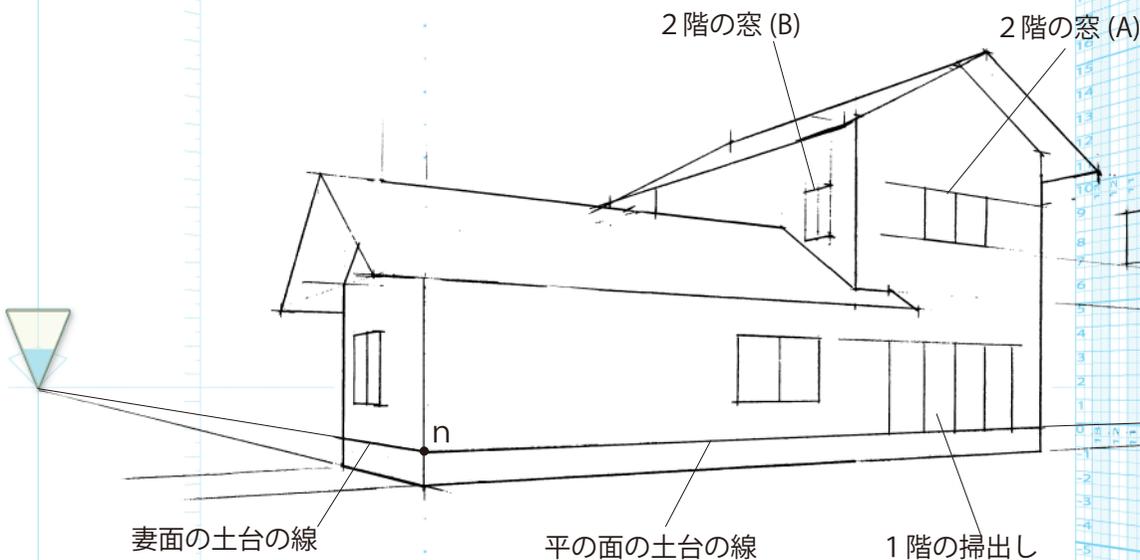


① 平面透視図の点 j1~j3 と立面透視図の点 i1、i2 を対応させて、平の面の窓を描きます。

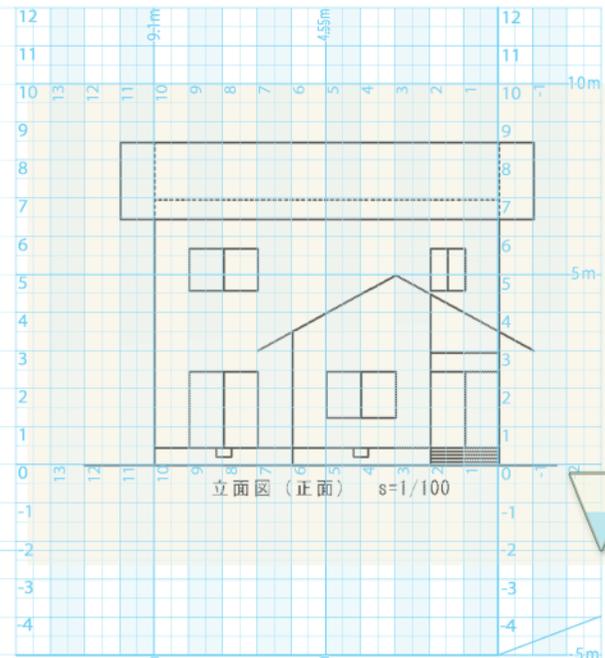


0.91
1m
0.91
0.91

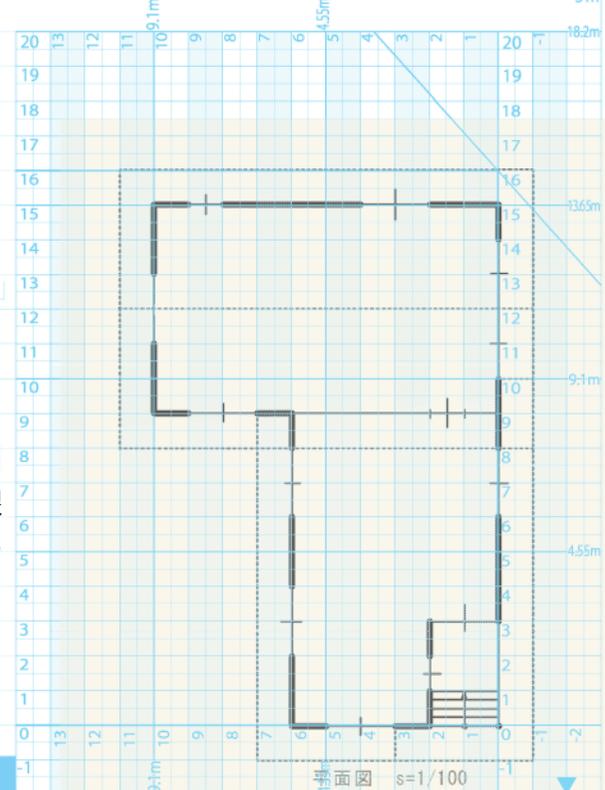
27 その他の窓・土台の線の作図



① 1階の掃出しは **25,26** の平の面の窓と同じ方法で描きます。平面透視図の点 k1~k5 と立面透視図の点 m1、m2 を対応させます。

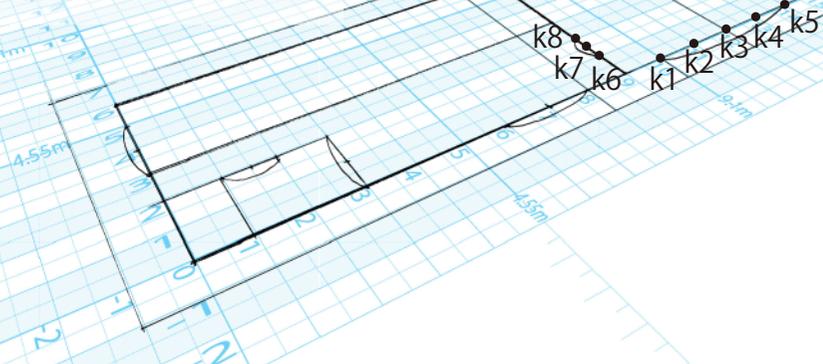


② 2階の窓 (A) も **25,26** の窓と同じ方法で描きます。平面透視図の各点 k2,k3,k4 と立面透視図の各点 m3,m4 を対応させます。



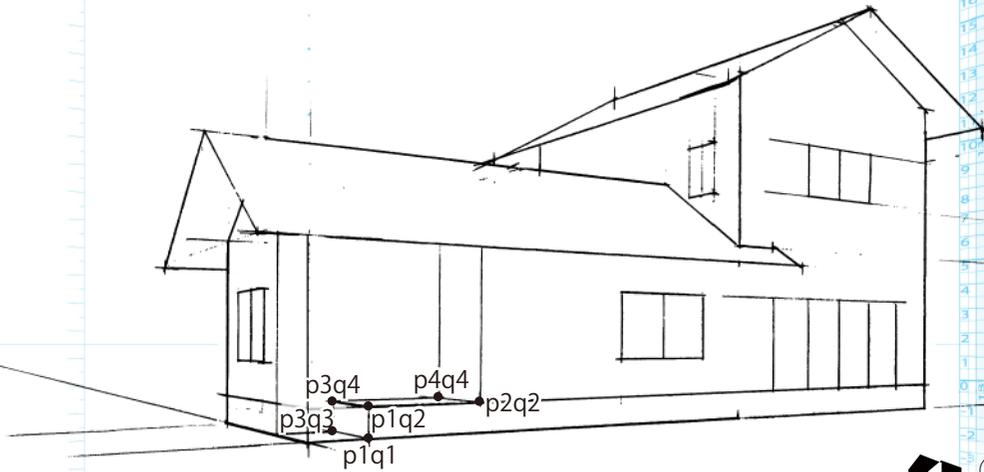
③ 2階の窓 (B) は **24** の妻面の窓と同じ方法で描きます。平面透視図の点 k6~k7 と立面透視図の点 m5、m6 を対応させます。

24 と同様近消点パース線も使います。



④ 平の面の土台の線は立面透視図の点 m1 と遠消点からのパース線によって描きます。妻面の土台の線は、平の面の土台の線の端点 n と近消点からのパース線によって描きます。

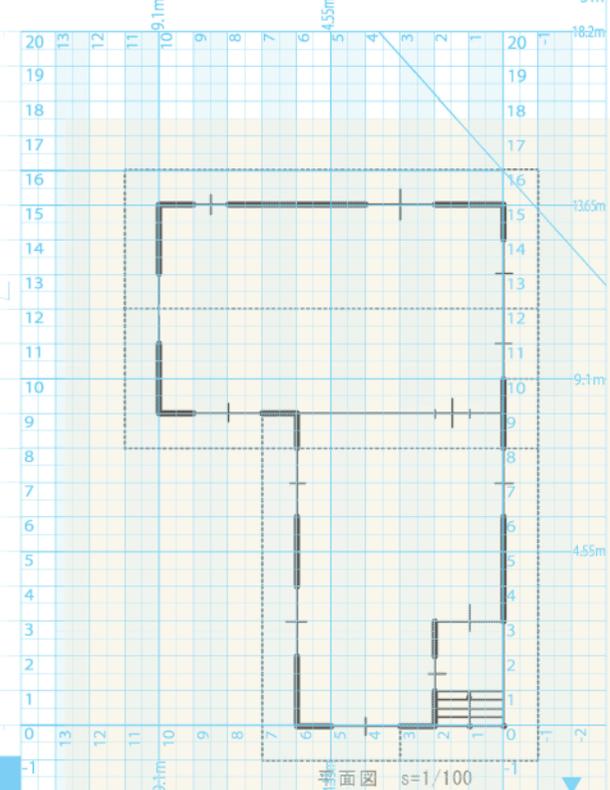
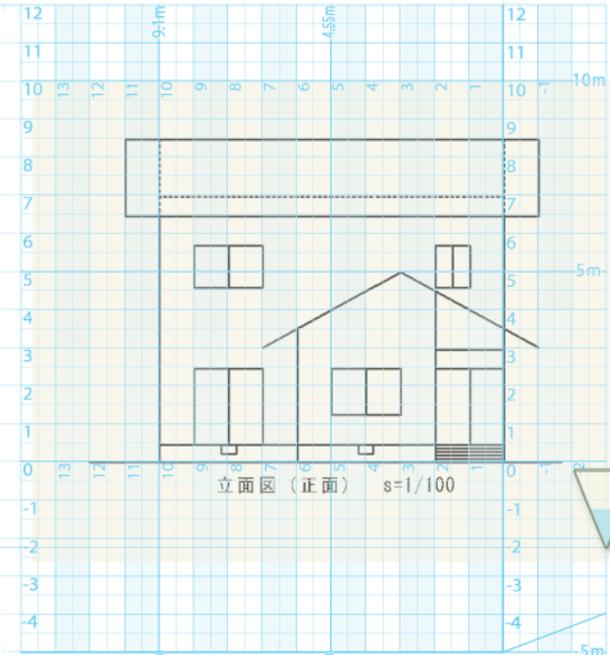
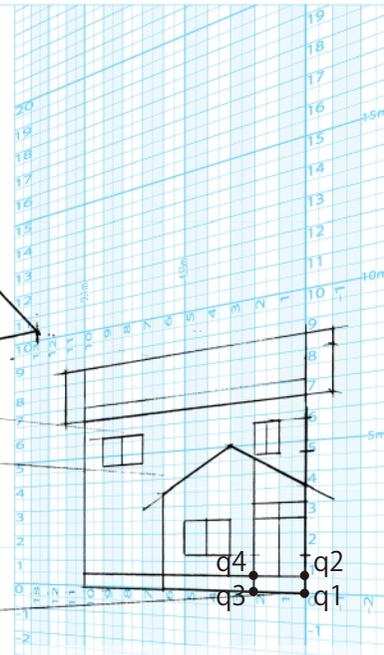
28 玄関付近 (外壁部分) の作図



①玄関付近は外壁からくぼんでいます。平面透視図の点 p1~p4 と立面透視図の点 q1~q4 を対応させて描きます。

まず、点 p1q1, p1q2, p2q2 を遠消点パーズ線と垂直線により求めます。

②その後、これらの 3 つの各点から近消点パーズ線を引き、平面透視図の点 p3, p4 からの垂直線を引いて、透視図本体の点 p3q3, p3q4, p4q4 を求めます。

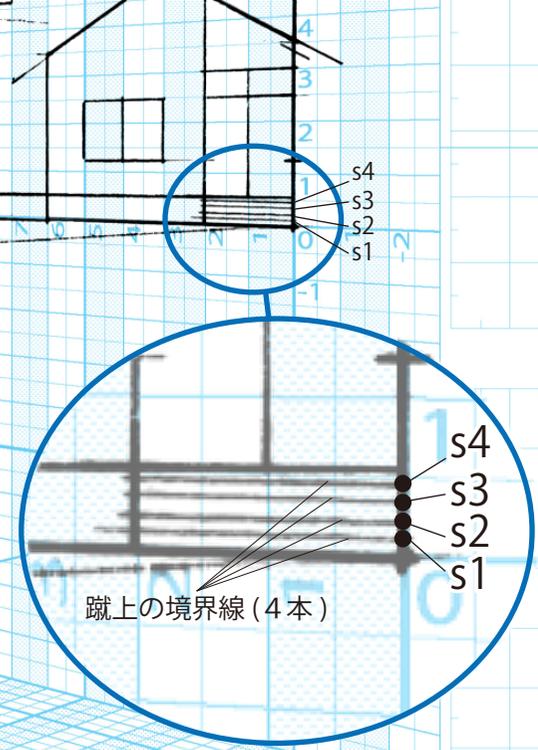


29 階段の作図 (平面透視図・立面透視図の準備)

③透視図本体の玄関付近の不必要な線を消しておきます。

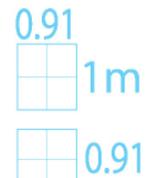
②立面透視図に階段の蹴上げの境界線を近消点パース線で描きこみます。立面的に見て5面ある蹴上げ面の境界線は4本になります。

階段の線は平面図と立面図とでは分割された面の数が異なるので注意してください。

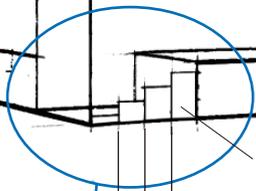


踏面の境界線 (3本)

①平面透視図に階段の踏み面の境界線を近消点パース線で描きこみます。平面的に見て4面ある踏面の境界線は3本になります。



30 階段の作図 (手前のササラ桁)

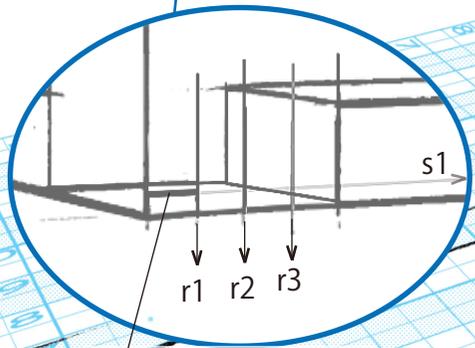


棒グラフのような
手前のササラ桁

r1 r2 r3

①階段を描くときは、まず棒グラフのようなササラ桁を描きます。描き方は **25,26** の平の面の窓と同じですが、細かい作図となるので、下記の②~⑥を見て、できるだけ正確に描いてください。

②平面透視図の点 r1~r3
から垂直線を引く。

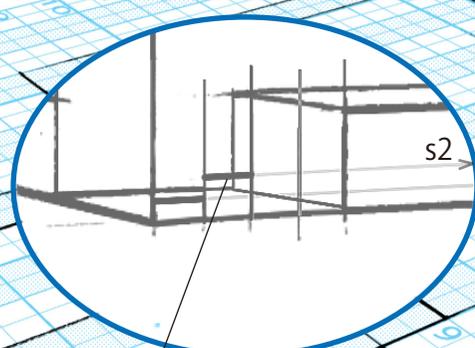


r1 r2 r3

s1

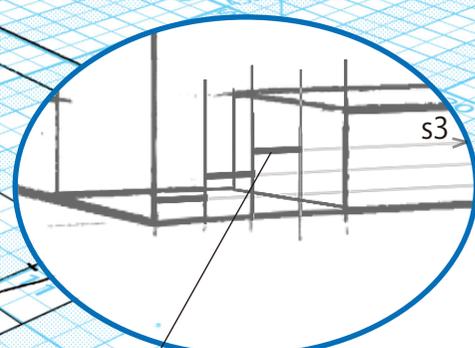
③立面透視図の
点 s1 から遠消点
パース線を引く。

r1 r2 r3



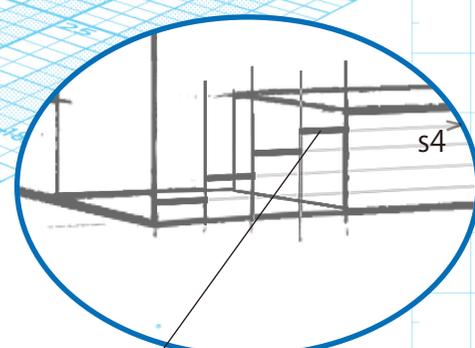
s2

④立面透視図の
点 s2 から遠消点
パース線を引く。



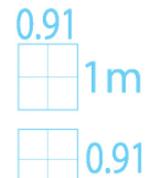
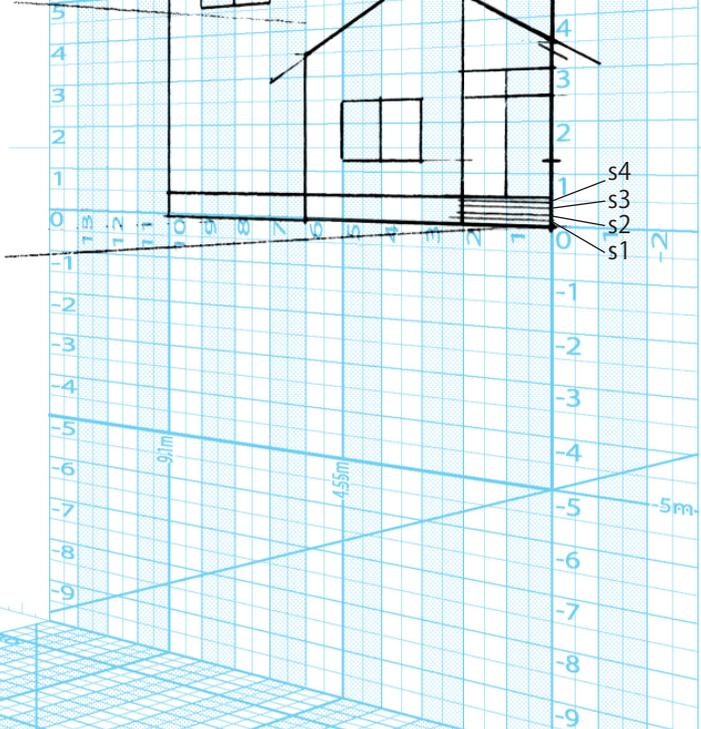
s3

⑤立面透視図の
点 s3 から遠消点
パース線を引く。



s4

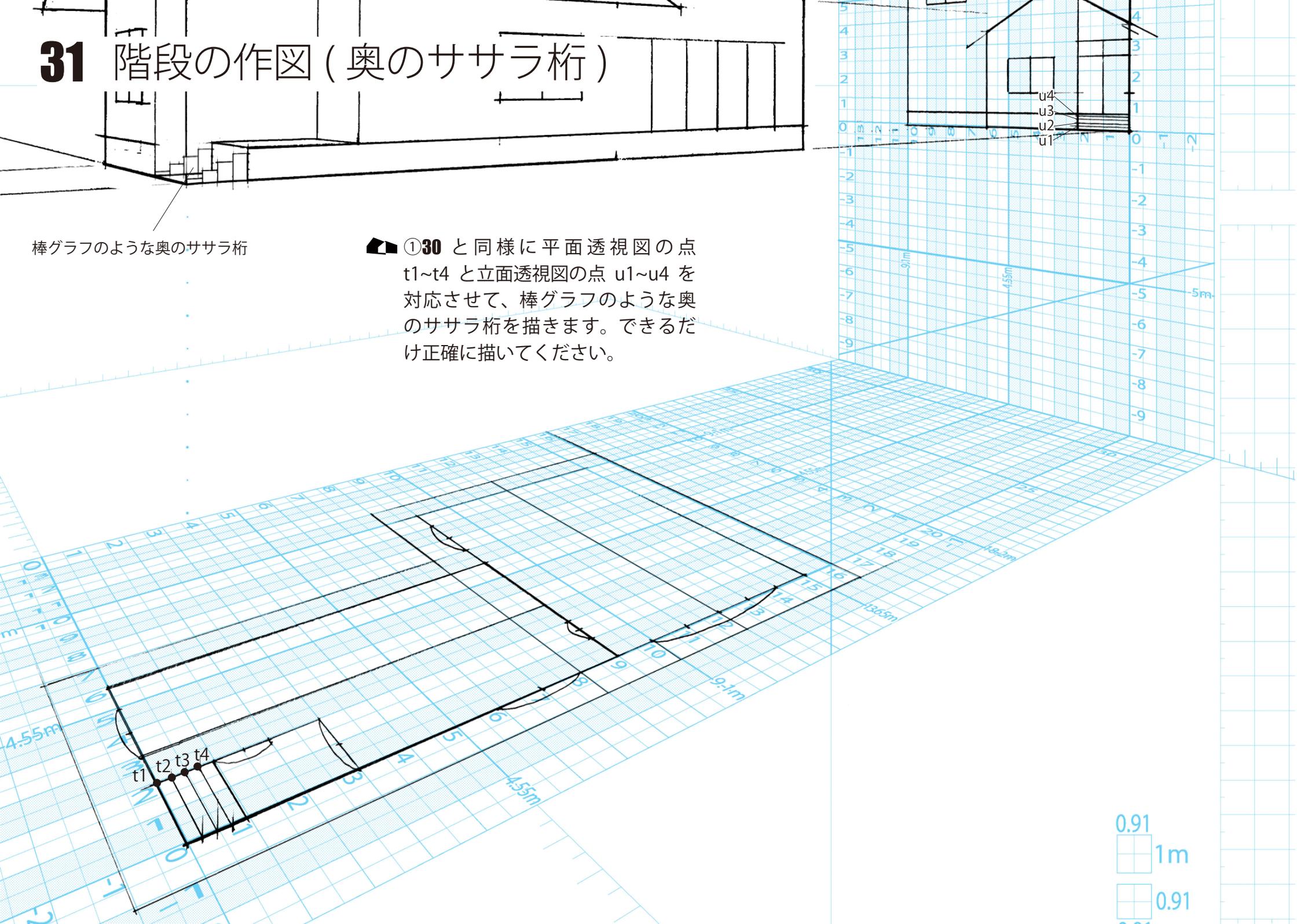
⑥立面透視図の
点 s4 から遠消点
パース線を引く。



31 階段の作図 (奥のササラ桁)

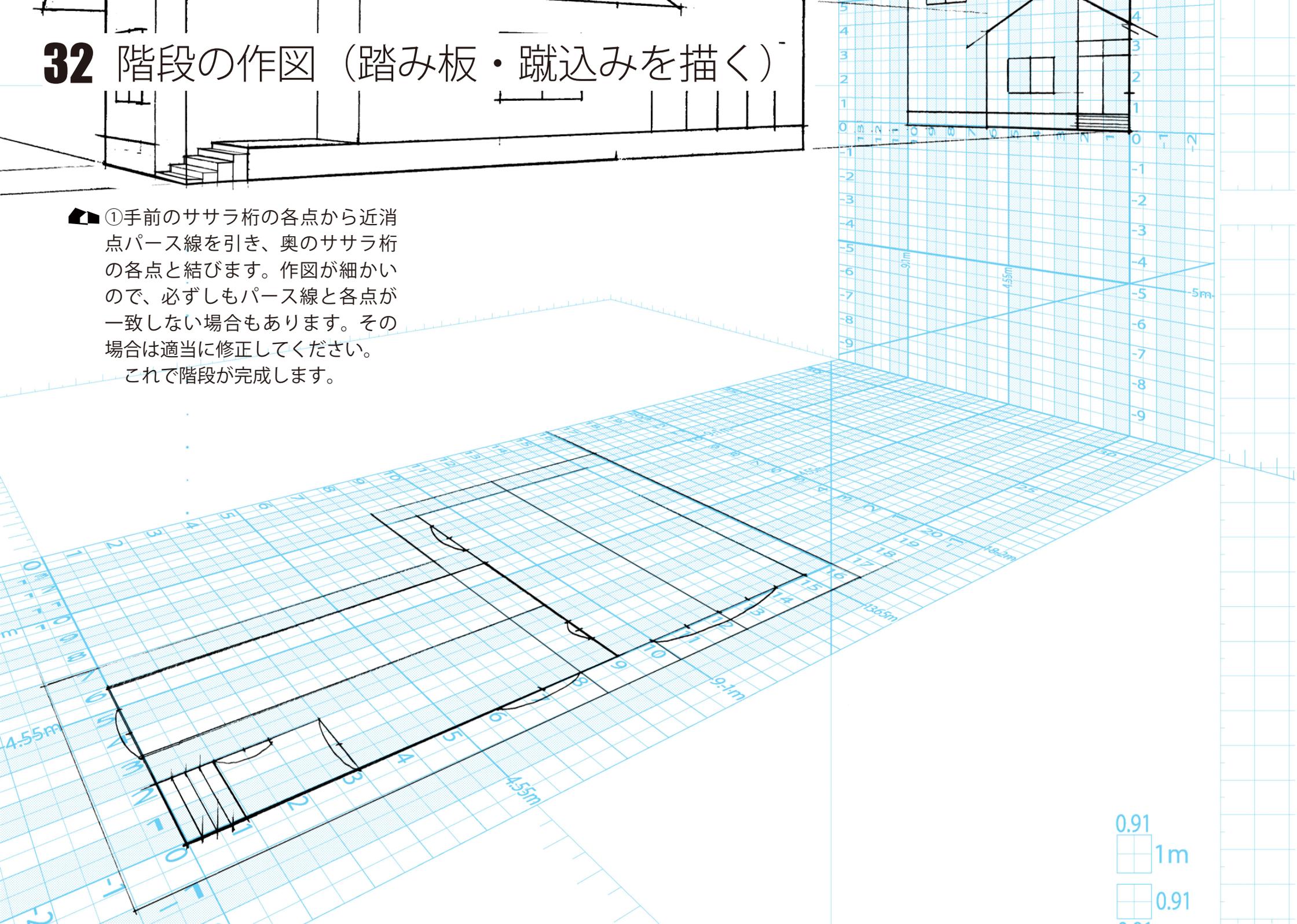
棒グラフのような奥のササラ桁

 ①30 と同様に平面透視図の点 t1~t4 と立面透視図の点 u1~u4 を対応させて、棒グラフのような奥のササラ桁を描きます。できるだけ正確に描いてください。



32 階段の作図 (踏み板・蹴込みを描く)

-  ①手前のササラ桁の各点から近消点パーズ線を引き、奥のササラ桁の各点と結びます。作図が細かいので、必ずしもパーズ線と各点が一致しない場合もあります。その場合は適当に修正してください。
これで階段が完成します。

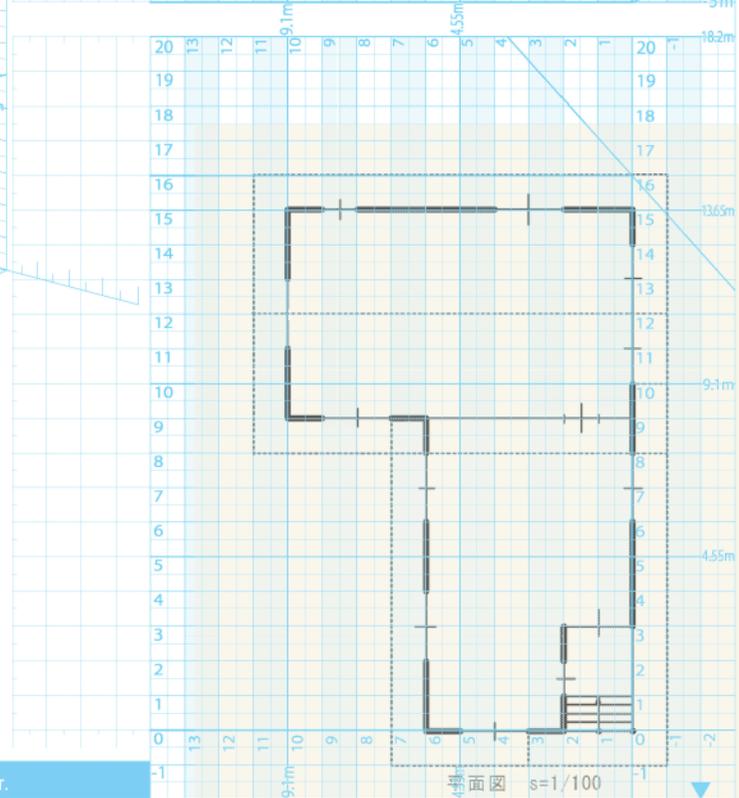
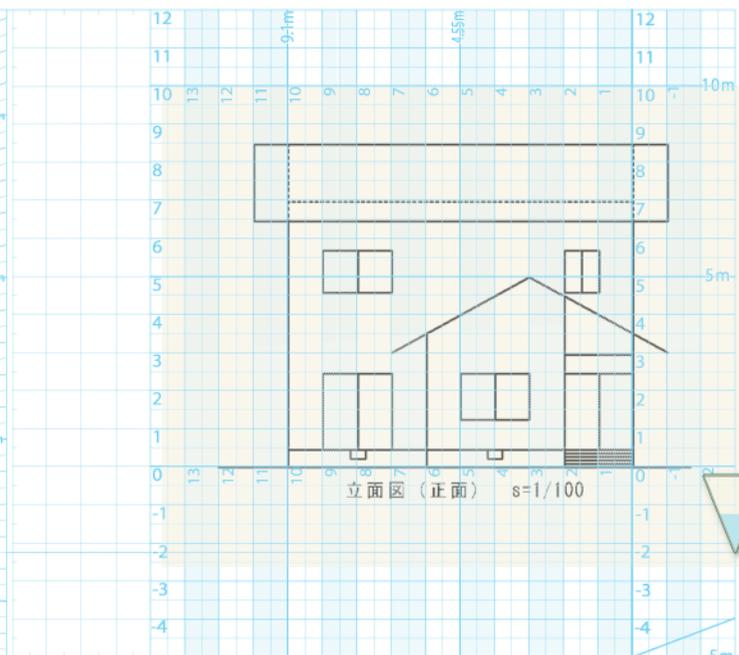
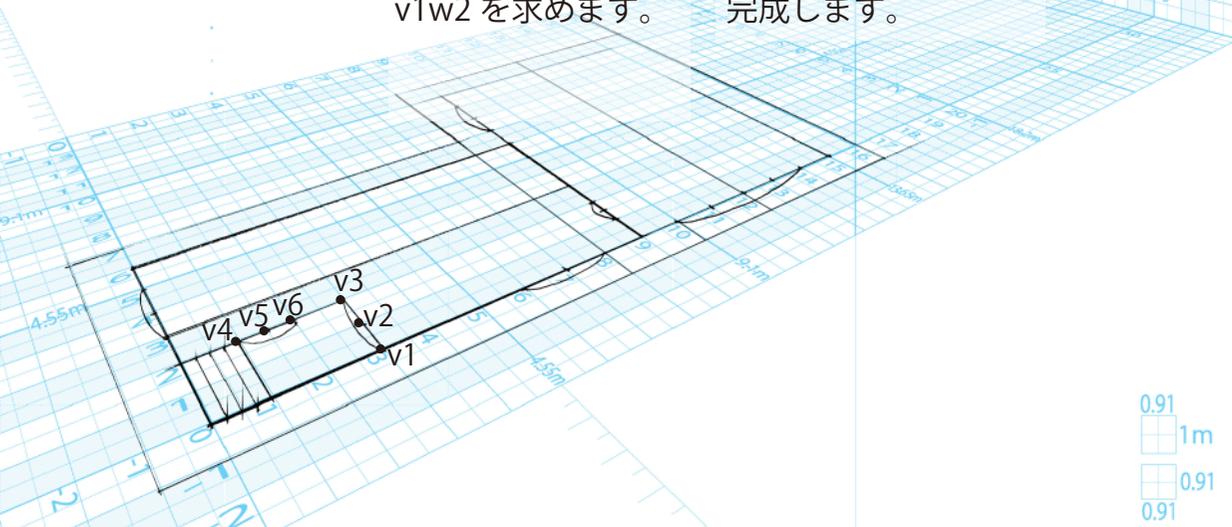


33 玄関付近 (ドア・窓) の作図

③玄関付近の窓は平面透視図の各点 $v_4 \sim v_6$ と立面透視図の点 w_3, w_4 を対応させて描きます。

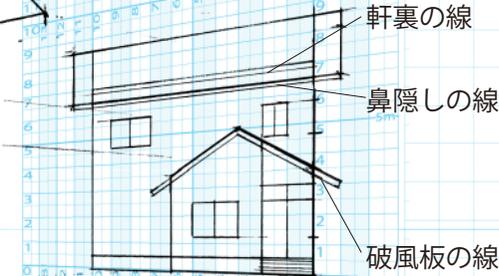
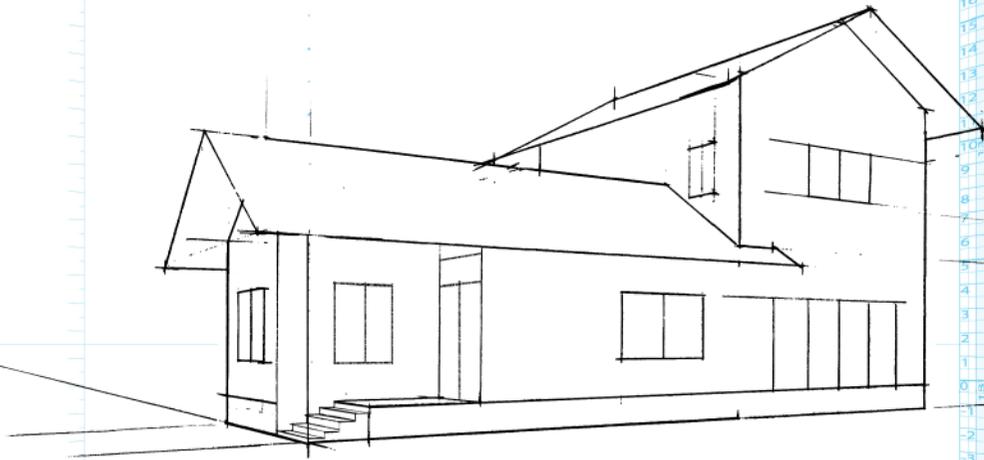


- ①玄関ドアは平面透視図の点 v_1 と立面透視図の点 w_1, w_2 を対応させて透視図の点 v_1w_1 、 v_1w_2 を求めます。
- ②点 v_1w_1 と v_1w_2 から近消点パース線を引き、平面透視図の点 v_2 から垂直線を引いて玄関ドアが完成します。

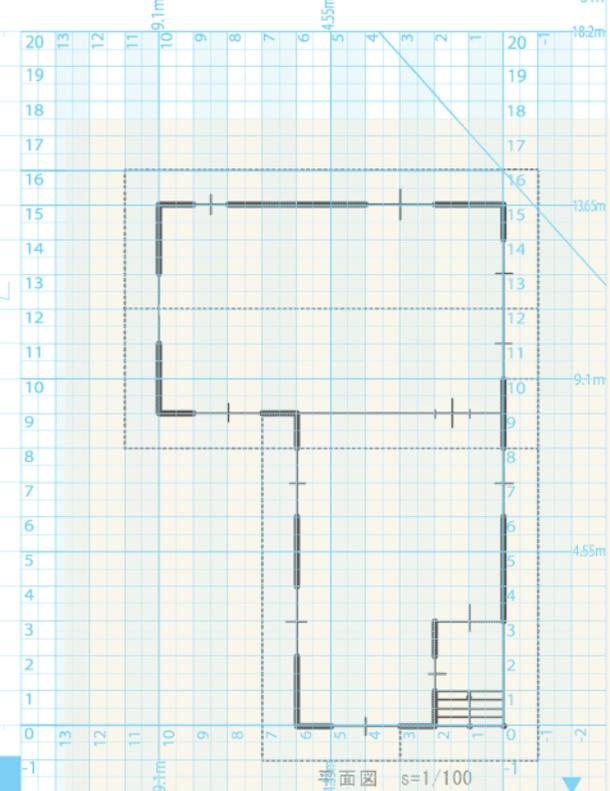
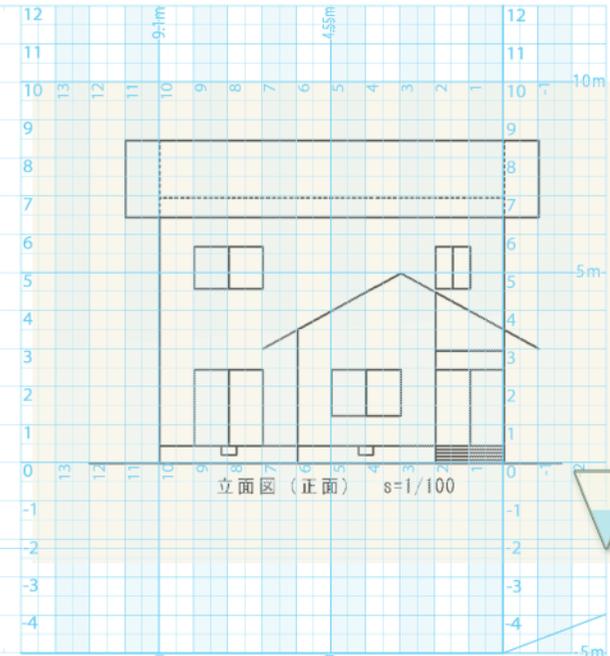


0.91
1m
0.91
0.91

34 屋根に厚みを付ける (立面透視図の準備)

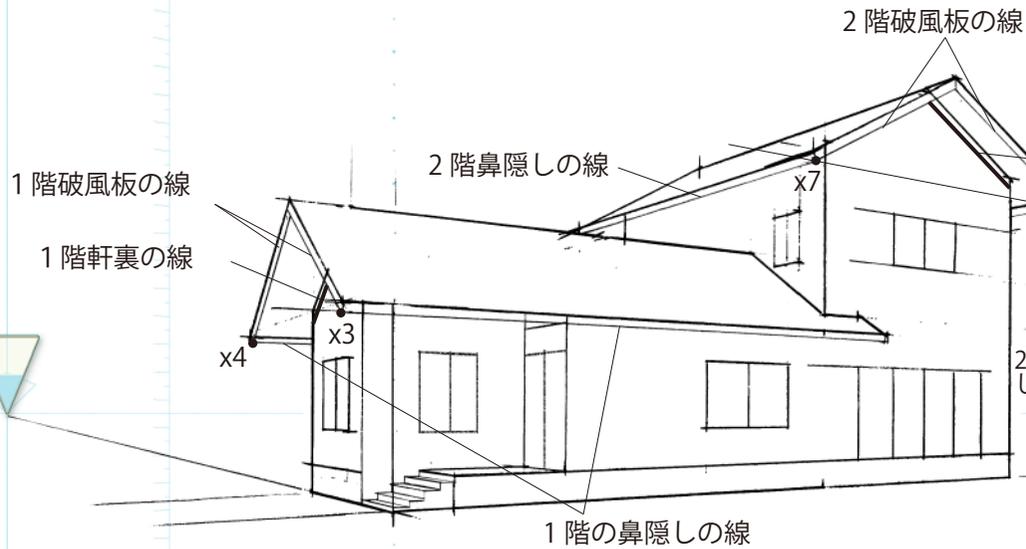


① 立面透視図に屋根の厚みを表す破風板の線、鼻隠しの線、軒裏の線を書き込みます。鼻隠しの線、軒裏の線は近消点パース線で描きます。厚さは目分量で2~3mm程度で書き込んでください。



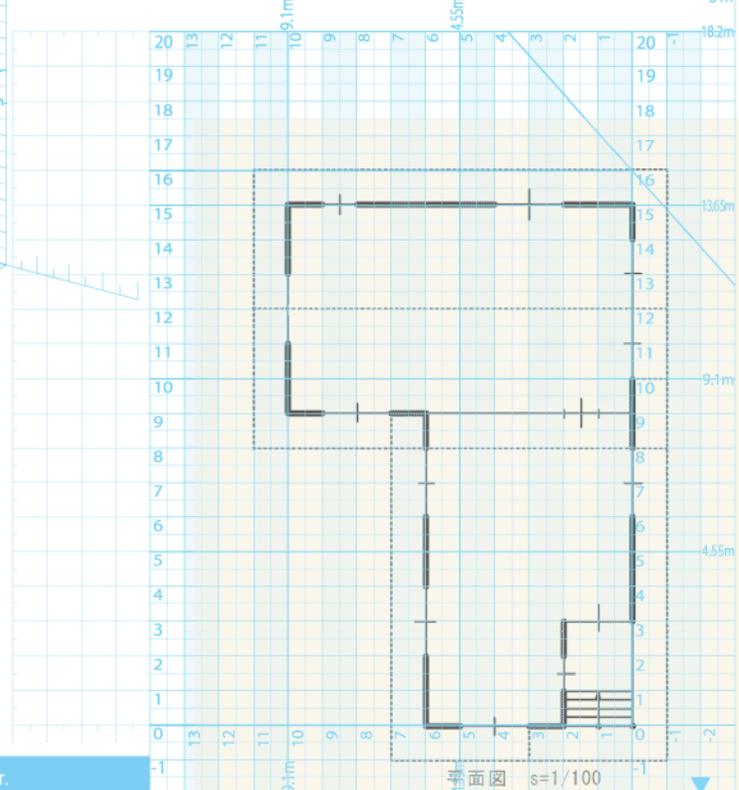
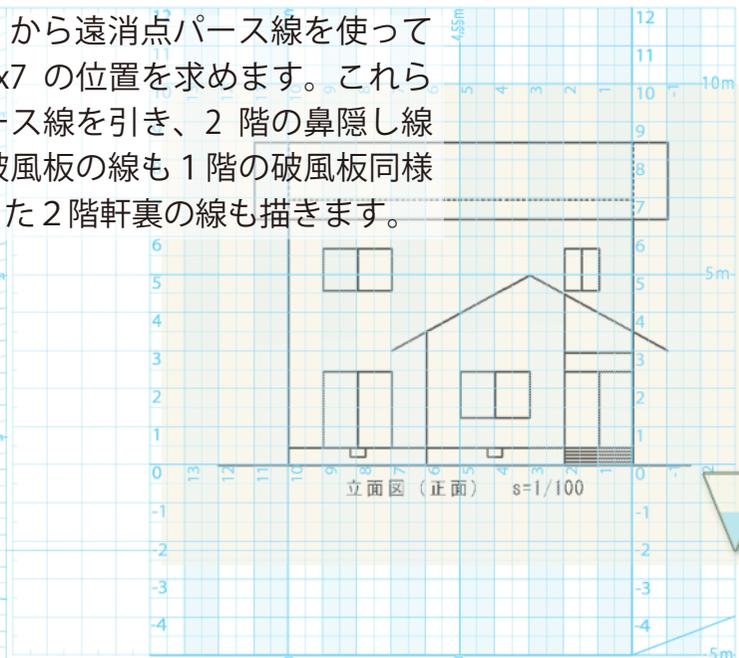
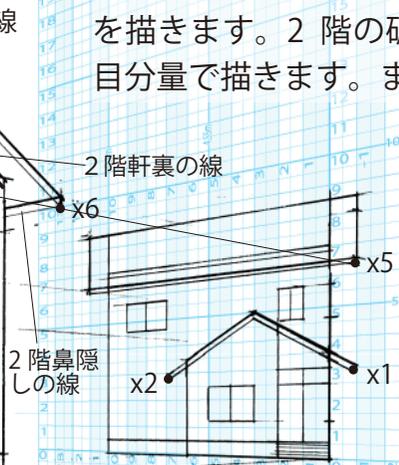
0.91
1m
0.91
0.91

35 屋根に厚みを付ける



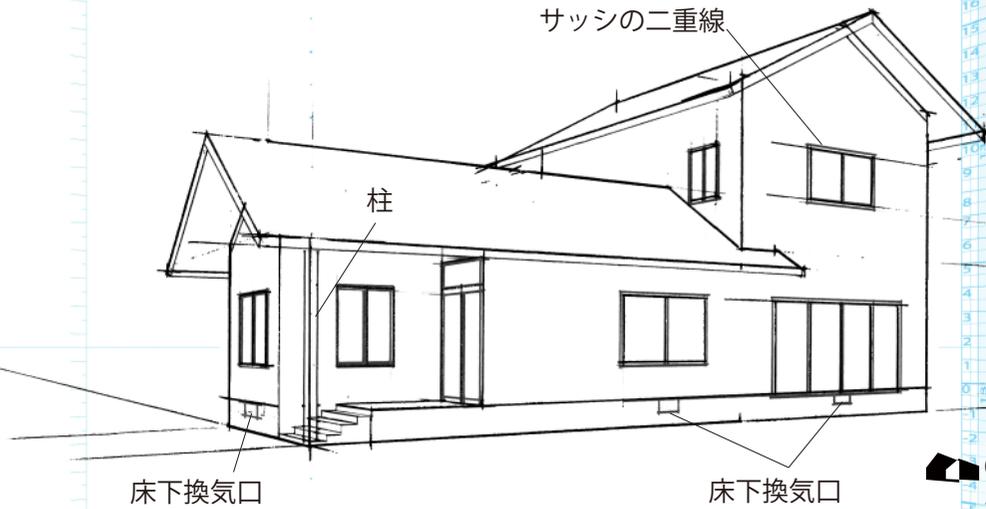
②立面透視図の点 x5 から遠消点パース線を使って透視図本体の点 x6、x7 の位置を求めます。これら点から近消点へのパース線を引き、2階の鼻隠し線を描きます。2階の破風板の線も1階の破風板同様目分量で描きます。また2階軒裏の線も描きます。

①1階の鼻隠しの線は、立面透視図の点 x1、x2 から遠消点パース線で描きます。透視図本体の点 x3、x4 の位置は目分量で決めます。点 x3、x4 をもとに1階屋根の線と平行に1階の破風板の線を描きます。また1階軒裏の線も描きます。



0.91
1m
0.91
0.91

36 サッシ、柱の二重線化・床下換気口の作図

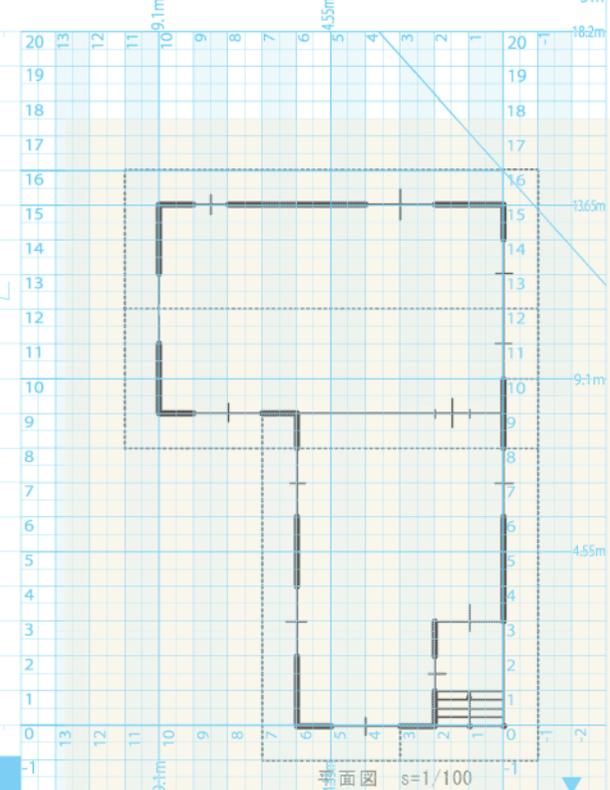
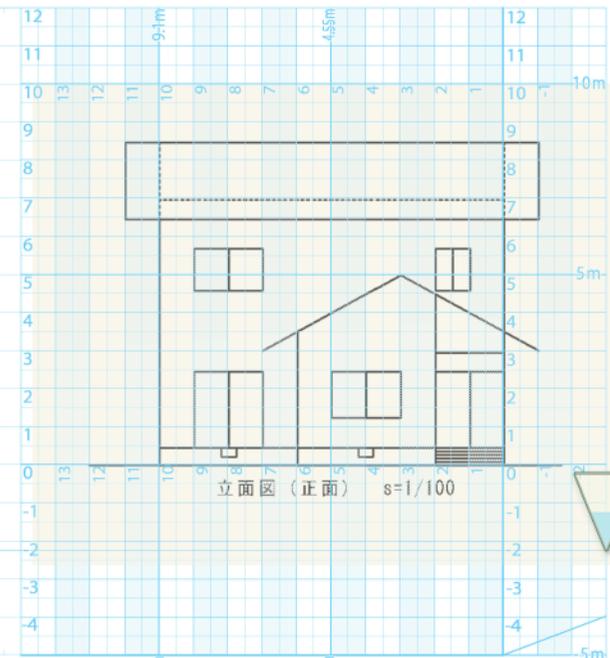


②柱は目分量で太さを付けます。すでに描かれている線に平行におよそ 1mm 程度の幅で左右に線を描きます。

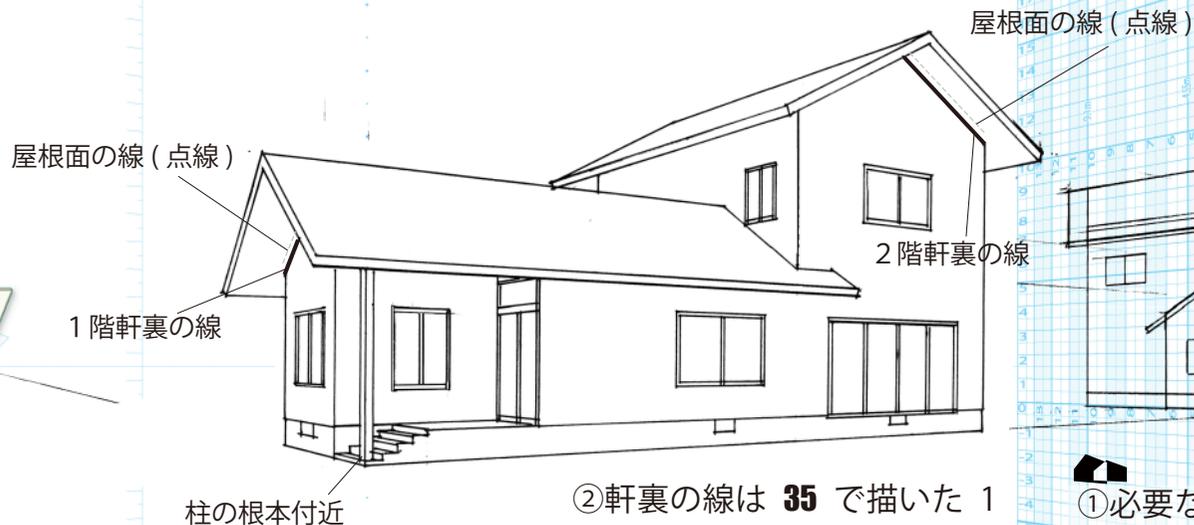
③床下換気口は窓と同じ要領で描きます。床下換気口は小さいので、おおよその位置と大きさを立面図で確認し、目分量で描きます。

①窓などのサッシはすべて二重線にします。すでに描かれている線に平行におよそ 0.5mm 程度の幅で線を描きます。窓の枠の線は外側に二重線化するとよいでしょう。

④二重線化する場合は、専用定規を消点ストップパやレールバーに当て、パース線や垂直線を引くようにしてください。



37 インキング・消しゴムかけ



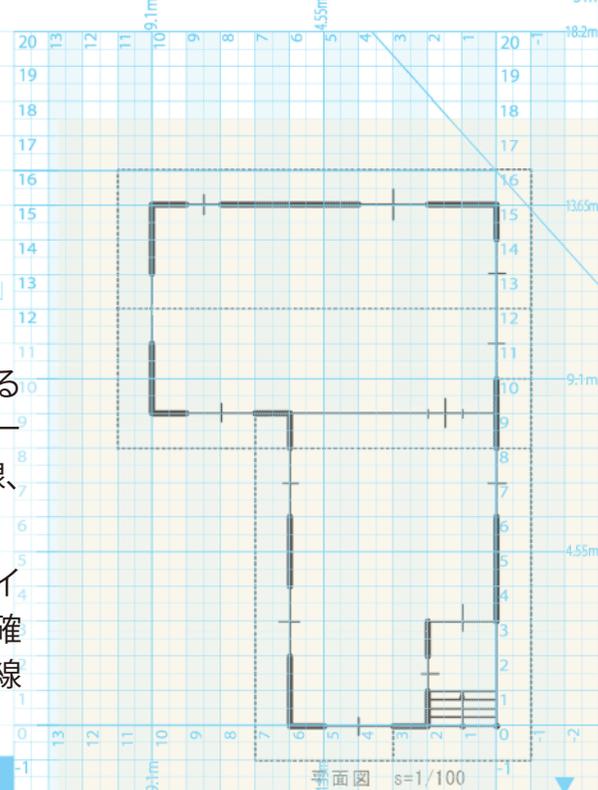
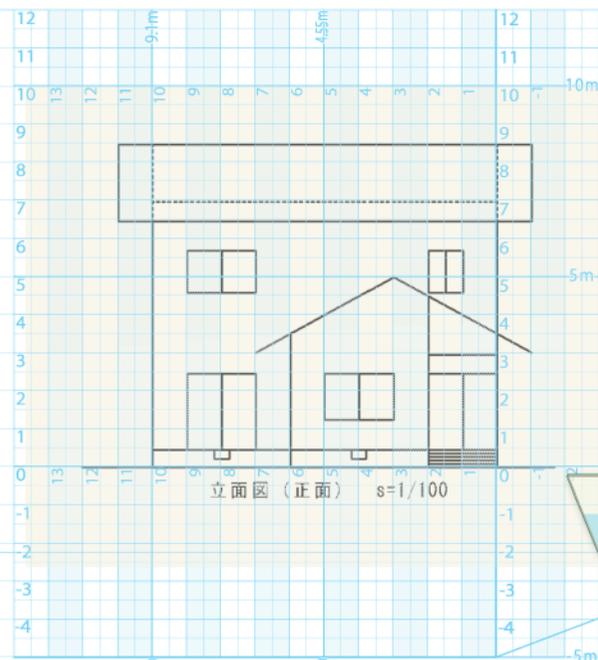
③柱の根本付近は、階段の一番下の段の踏み板から立ち上がっています。

②軒裏の線は 35 で描いた 1 階軒裏の線、2 階軒裏の線をインキングします。屋根面の線は消されます。これは屋根に厚みがあり、外壁が埋まっているためです。

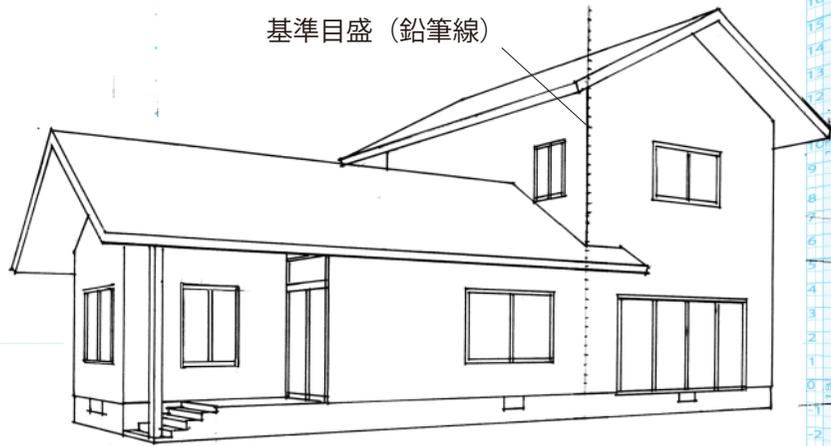
①必要な線をペンを使ってインキングします。特に注意が必要な箇所は、軒裏の線や、柱の根本付近なので、これらの線を先にインキングします。

④インキングする際も、できるだけ消点ストッパやレールバーに専用定規を当ててパース線、垂直線をひいでください。

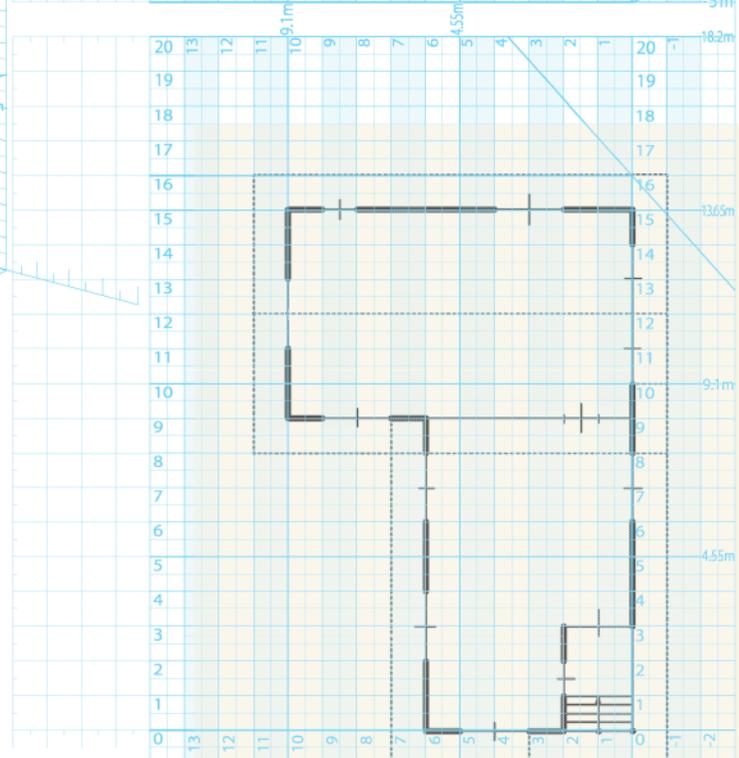
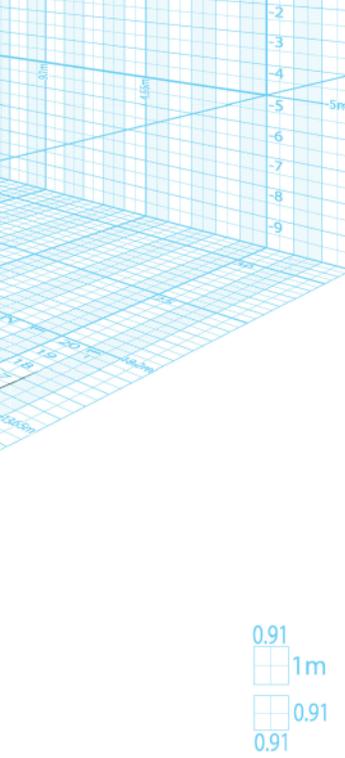
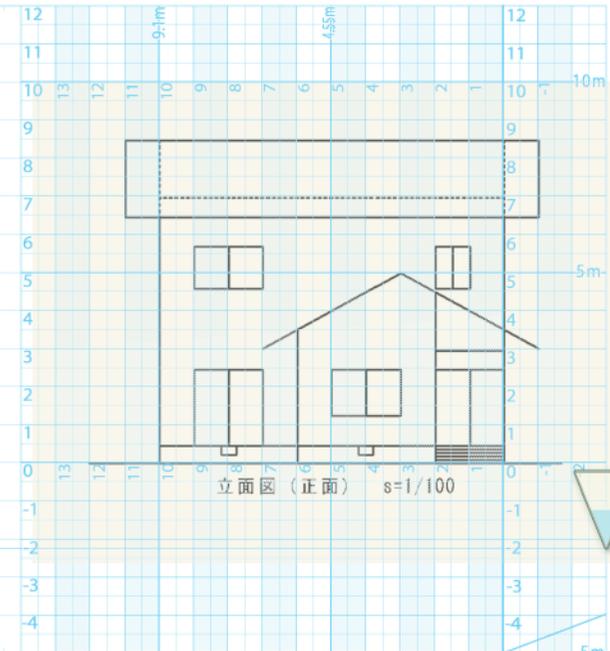
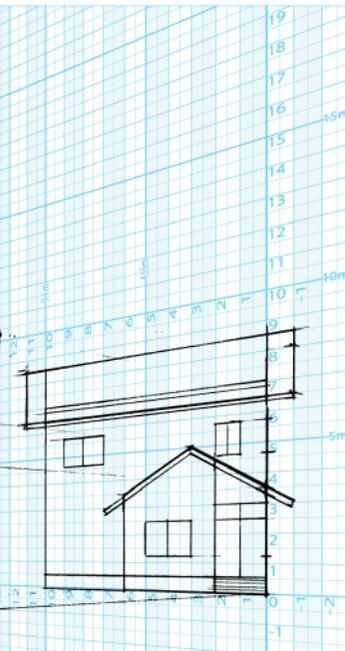
⑤インキングが終わったら、インクが十分に乾燥したことを確認し、消しゴムをかけて鉛筆線を消してください。



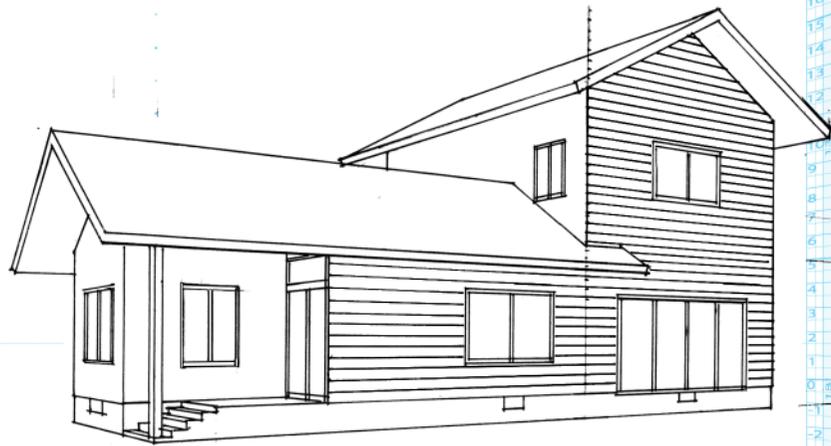
38 外壁の板目の作図 (基準目盛)



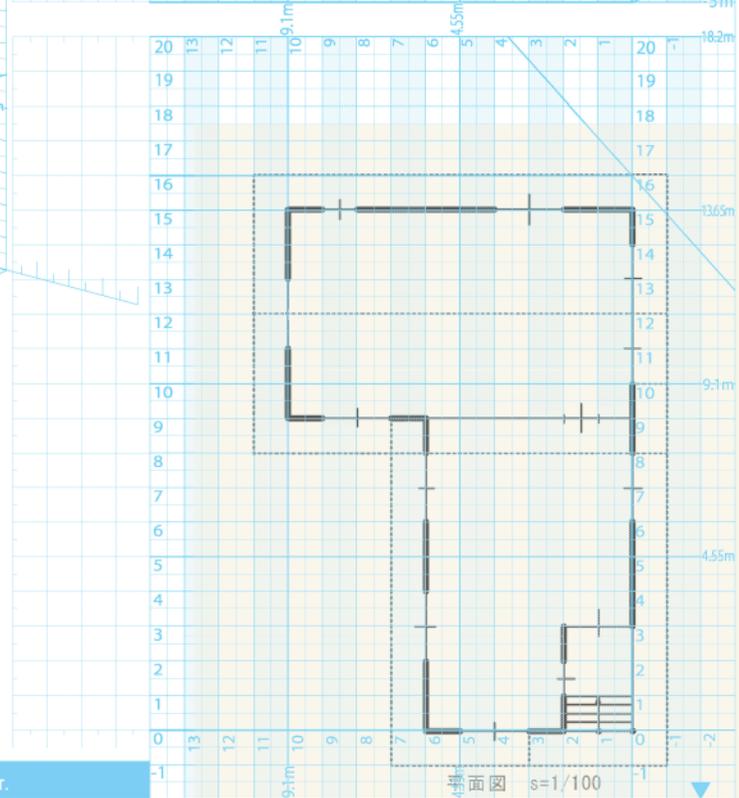
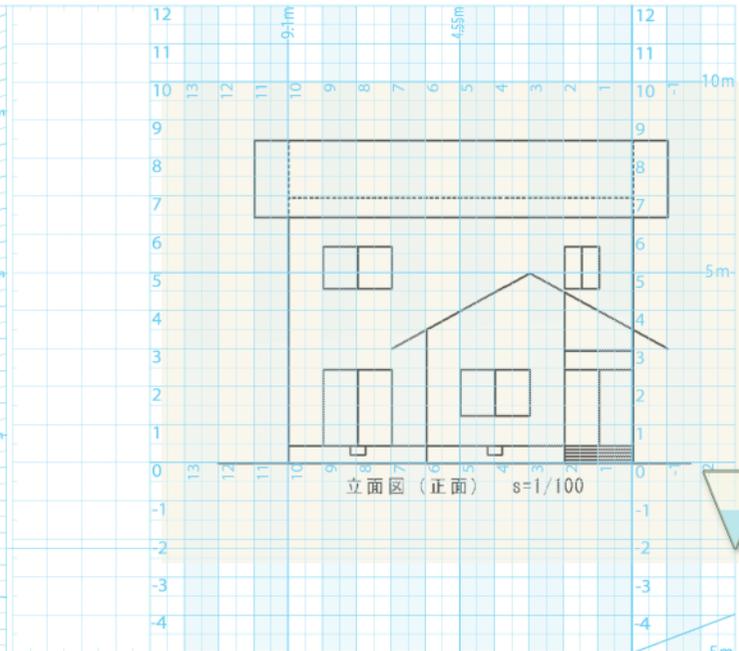
- ① 外壁の板目を描くための基準目盛を目盛付定規で鉛筆線で描きます。目盛の間隔は3mm程度が好ましいです。



39 外壁の板目の作図



① 基準目盛の各点から遠消点
パース線を引き板目を描きま
す。このとき、下書きはせず
いきなりペンでインキングし
ても構いません。

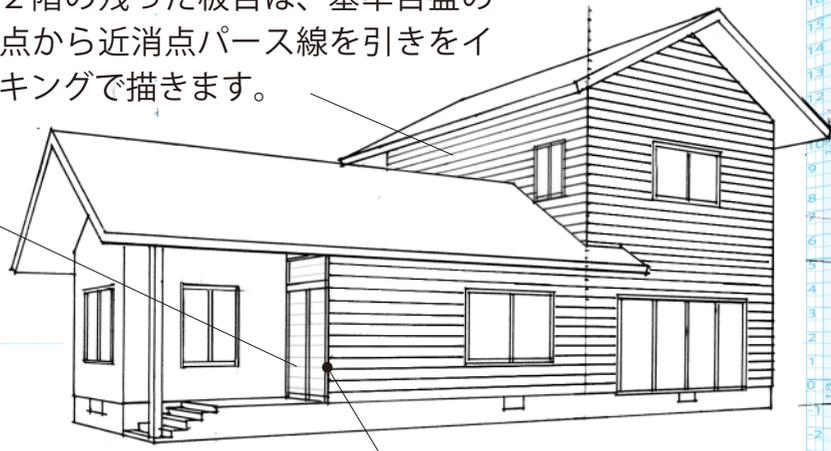


0.91
1m
0.91
0.91

40 外壁の板目の作図

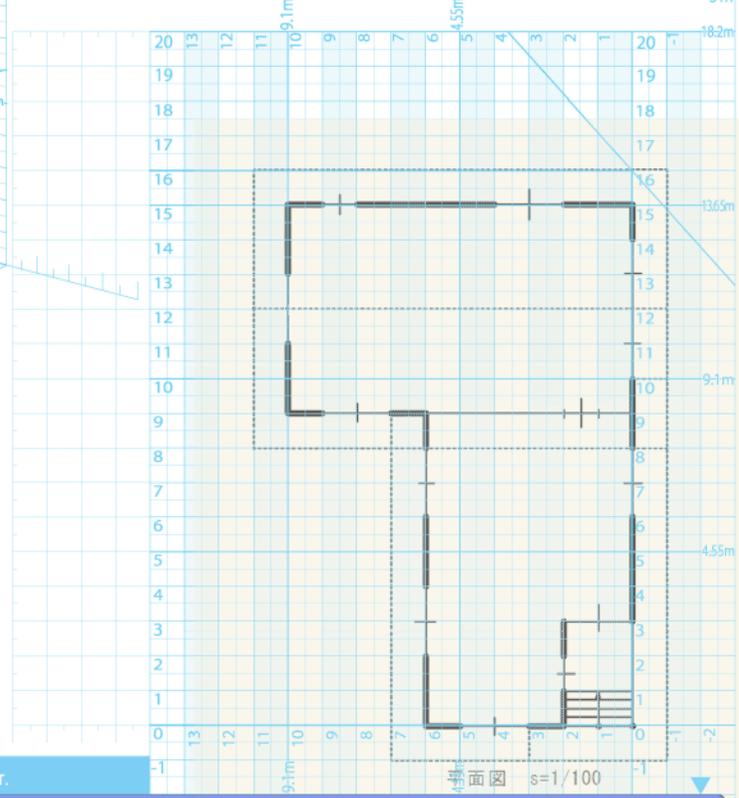
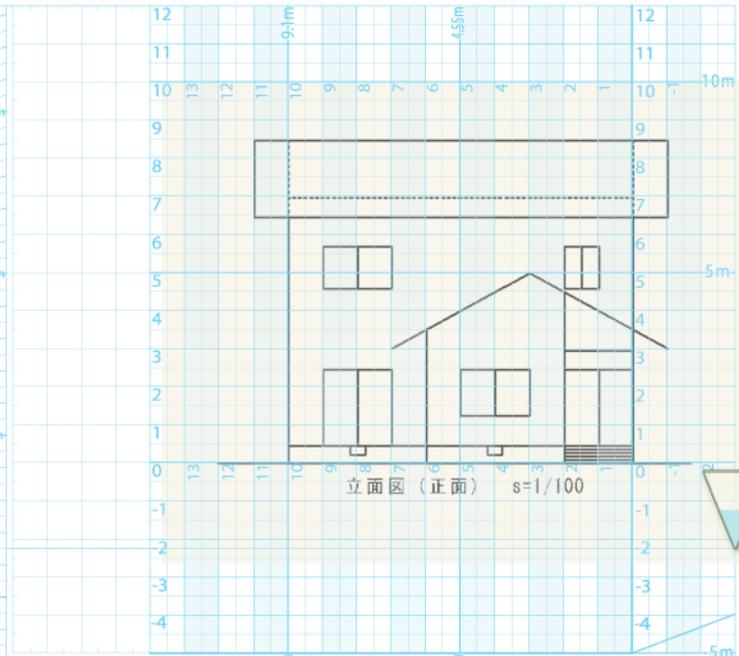
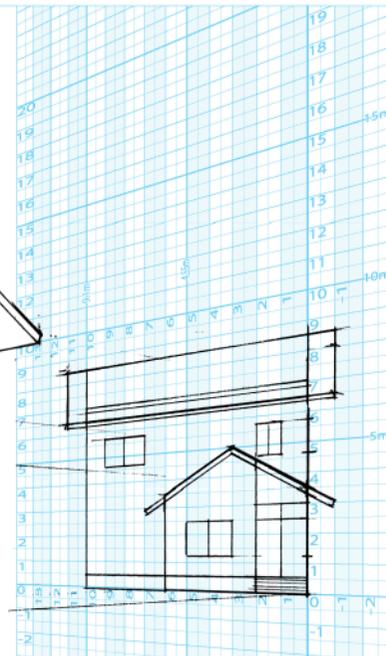
① 2階の残った板目は、基準目盛の各点から近消点パース線を引きをインキングで描きます。

玄関ドアの上の
仮の板目 (鉛筆線)



外壁板目の端点

② 玄関ドアの上にも仮の板目を鉛筆線で描きます。外壁板目の目の端点から近消点パース線を使って描きます。この板目は最終的には消されますが、基準目盛の役目をします。



0.91
1m
0.91
0.91

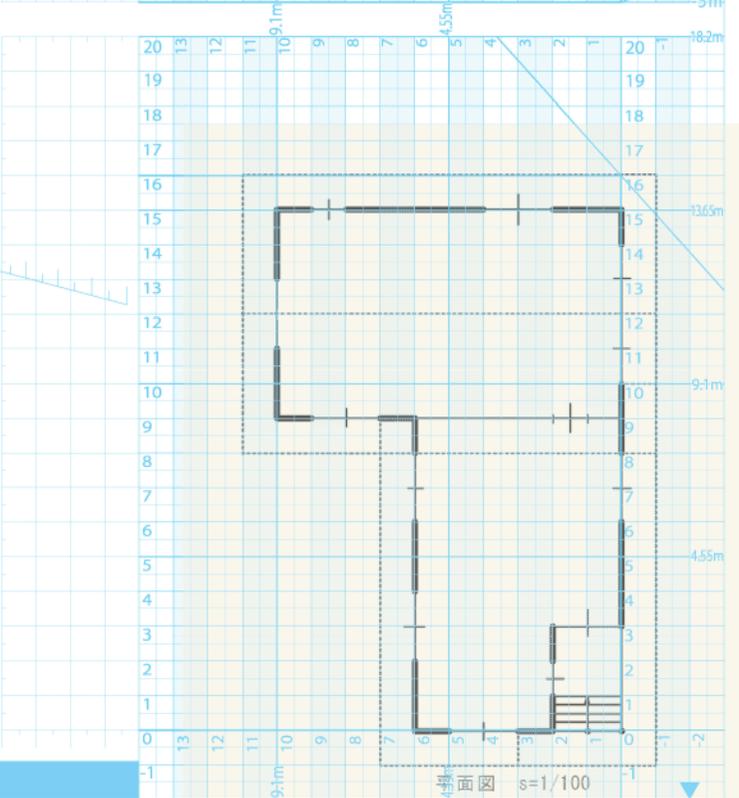
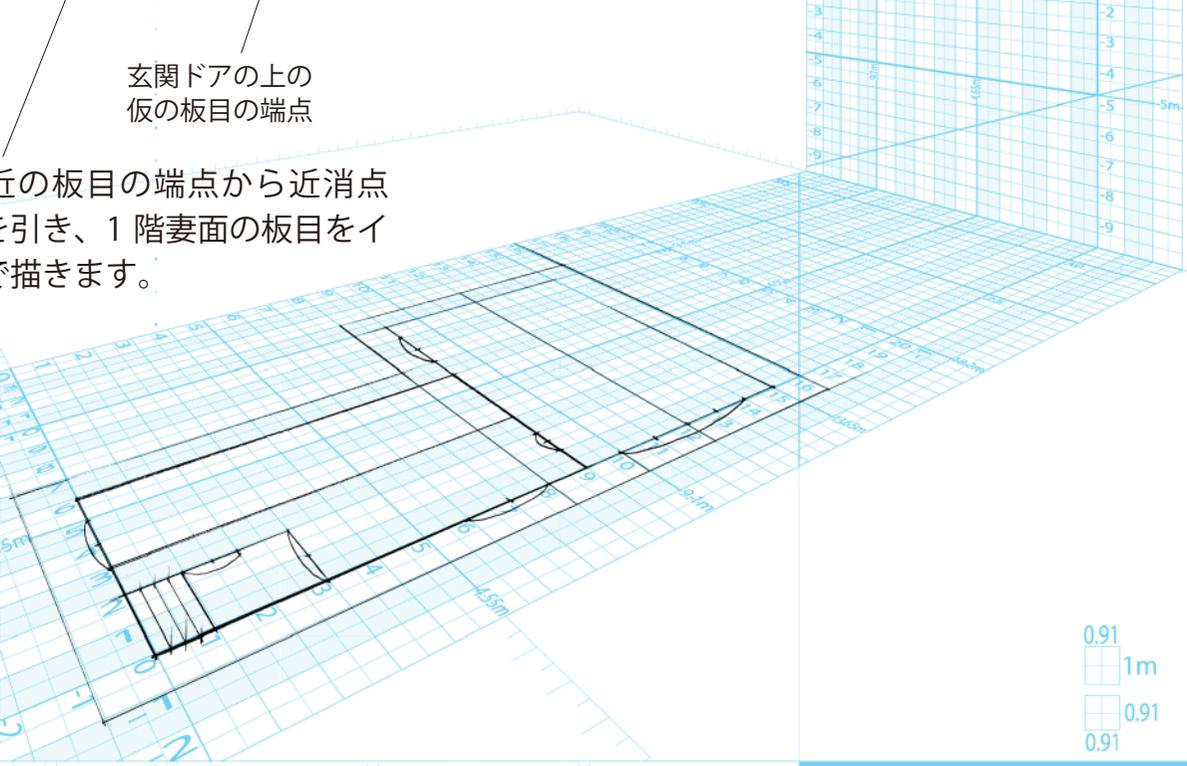
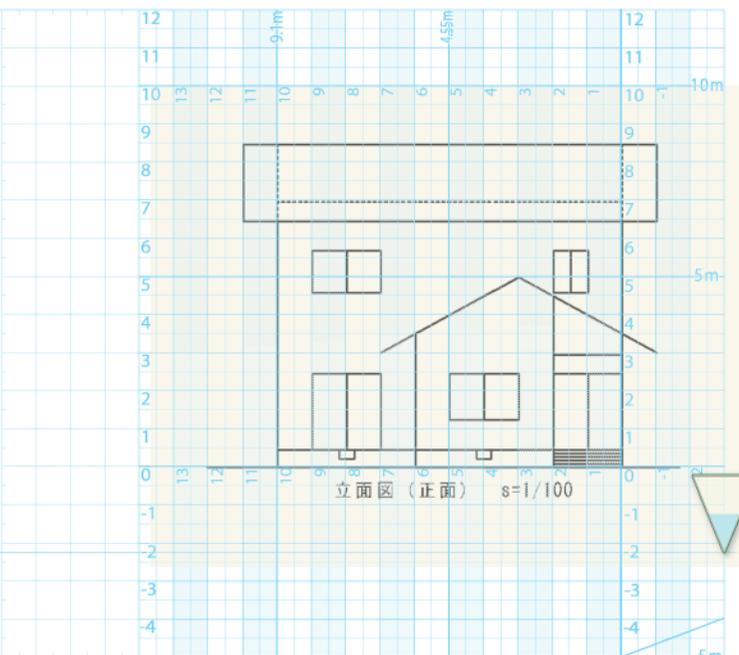
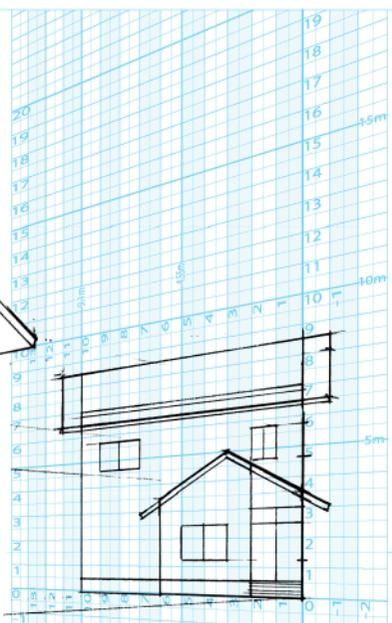
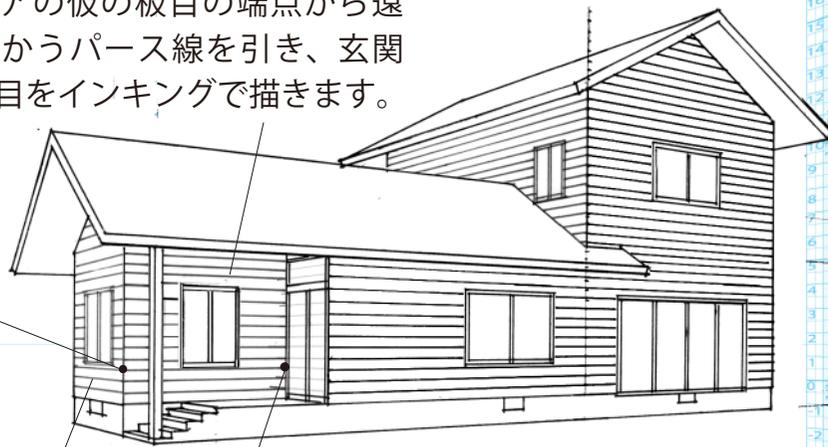
41 外壁の板目の作図

①玄関ドアの仮の板目の端点から遠消点に向かうパース線を引き、玄関付近の板目をインキングで描きます。

玄関付近の板目の端点

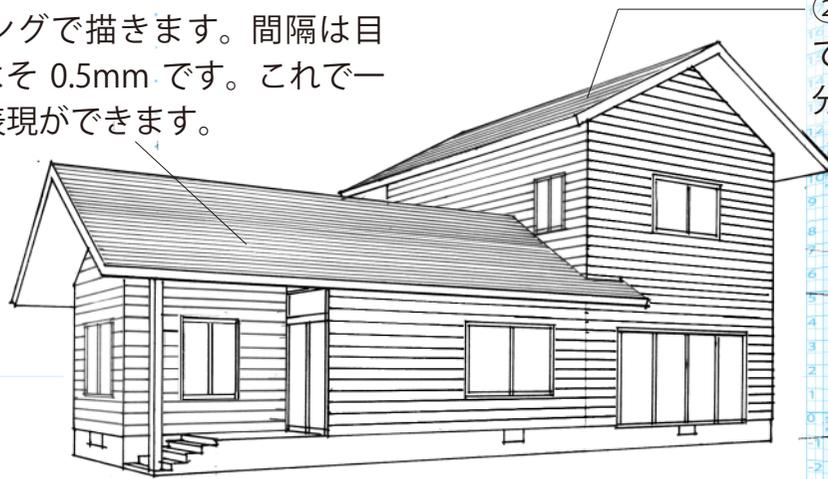
玄関ドアの上の仮の板目の端点

②玄関付近の板目の端点から近消点パース線を引き、1階妻面の板目をインキングで描きます。

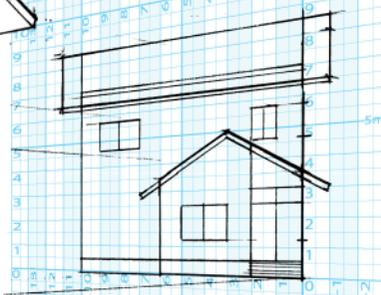


42 屋根の目地の作図・2階建住宅の完成

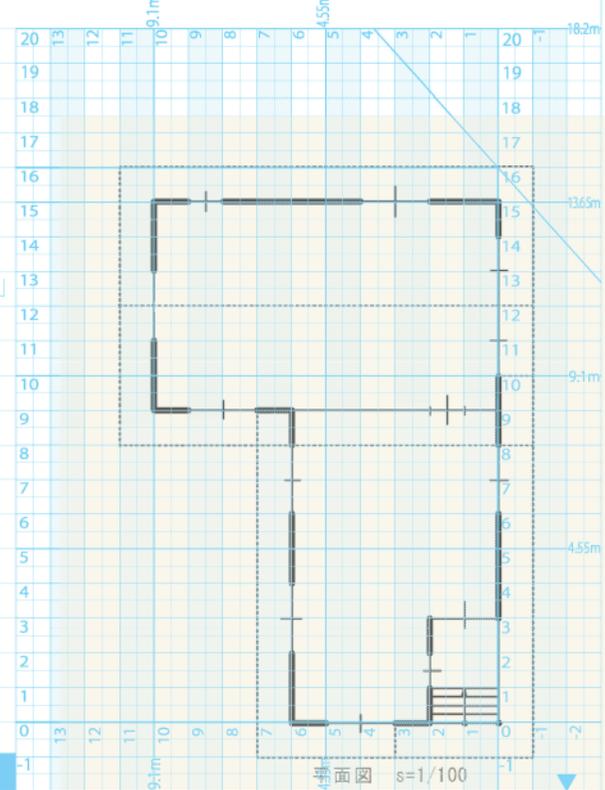
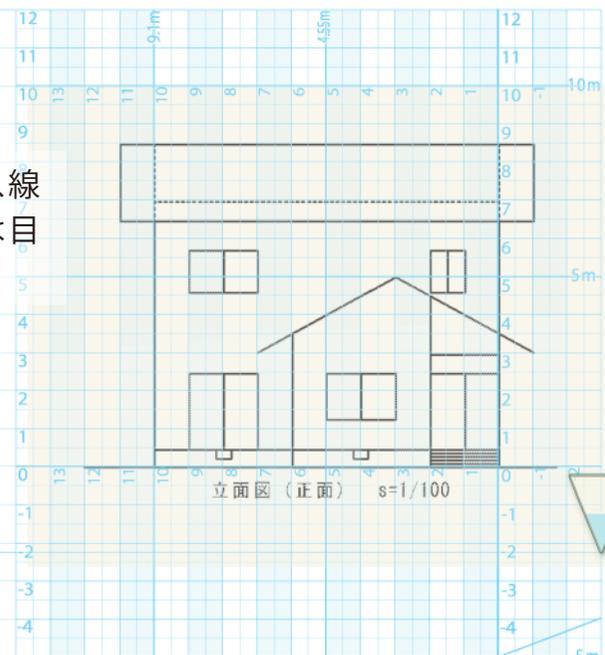
① 1階屋根の目地を遠消点パース線でインキングで描きます。間隔は目分量でおよそ0.5mmです。これで一文字葺の表現ができます。



② 2階屋根の目地を近消点パース線でインキングで描きます。間隔は目分量でおよそ0.5mmです。



③ 全体に消しゴムをかけて鉛筆線を全部消し、2階建住宅の透視図本体が完成します。



Perspeedy チュートリアルブック 2階建住宅編

平成 26 年 12 月 1 日 初版 発行

著 者 間瀬 実郎
発行者 答島 一成
発行所 株式会社アドウィン
広島市西区楠木町 3-10-13
TEL : 082-537-2460 (代表)
FAX : 082-238-3920
URL : <http://www.adwin.com>
E-mail : hanbai@adwin.com

©2014 株式会社アドウィン

- ・本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を越え、無断で複写、複製、転載、デジタル化することを禁じます。
- ・本書の内容、作図方法など、技術に関する問い合わせは FAX または電子メール等をお願い致します。電話では受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。また、作図方法以外の一般的な事柄に関するお問い合わせは受け付けておりませんので、よろしく申し上げます。

サクサク作図！手描きパースキット

